



ミンミンと、にぎやかだったセミの鳴き声から、コオロギの涼やかな鳴き声に変わり、季節はどんどんと秋に近づいてきました。暦ではもうすぐお月見です。うさぎさんのもちつきがみられるといいですね。

子どもたちが喜ぶわらべうた・ふれあい遊び紹介



「てんぐのめん」



「すってんてれつく・・・」お祭りのお囃子はみんな大好きですよ。「笑う門には福来る」といいますが笑顔は心と体の健康になるそうです。親子で色々な表情を一緒に作って「わはは・・・」といっぱい笑って楽しんでください。

♪すってんてれつく てんぐのめん

おかめに ひょっこ はんにゃのめん **×ロディーはお好みで**

- 1 すってんてれつく 子どもと向かい合って座り
歌に合わせ胸元で両腕をぐるぐる回す。
- 2 てんぐのめん こぶしを鼻に当て天狗のようにする。
- 3 おかめに こぶしをほっぺに当てて笑顔に。
- 4 ひょっこ 唇をできるかぎりとがらせて
ひょっここのように。
- 5 はんにゃのめん 両手でつのを作り怖い顔「がははは・・・」



野の花図鑑 身近な野の花の紹介です

「おしろいばな」

オシロイバナは、黒い果実（種子）を割ると、白い粉質のもの（胚乳にあたる部分）があり、それがおしろいの粉のようなので、この名がつけられています。日本には江戸時代に入り、各地で野生化して多く見られるようになったそうです。

＜おしろい花でパラシュート遊び＞

ガクが緑色の時に花の管をそーっと引っ張ると、花と種の部分がめしべでつながります。

ポーンと放り投げると、おしろい花がパラシュートのよう落ちてくるのが楽しいですよ!



今月のおすすめ絵本

『ねずみくんのチョコッキ』 作：なかえよしを ・絵：上野紀子

お母さんが編んでくれた赤いチョコッキを着た、ねずみくん。そこへ動物たちがやってきて「ちょっときせてよ」と次々にチョコッキを着ていきます。1974年の出版以来、読みつがれているロングセラー絵本で、シンプルな繰り返しの語りがかどもたちに大人気です。愛され続けるねずみくんと、お友だちになってみませんか。



出版社 ポプラ社

○現在はコロナウイルス対策として、園外の方との交流を自粛させていただいていますが、交流ができるようになりましたら日程が決まり次第、のびのび通信や、ホームページにてお知らせをさせていただきます。

○子育て相談は電話、FAXにて、いつでもお受けしています。

TEL：042-673-5564 FAX：042-673-5565